

**入門者用おすすめタックル&仕掛け類**  
**アナリスター タチウオテンヤ**

●高感度グラスソリッド穂先、エアセンサーシート、X45搭載のスタンダードタイプの専用ロッド。73-180、82-180、91-180の3タイプあり。当日の高槻さんは82-180を使用。



■82-180 SPEC = 全長1.8m、自重112g、継ぎ数2本、オモリ負荷40~100号(テンヤ30~60号)、メーカー希望本体価格28,500円

**テンヤタチウオX**

●プレーディングX、柔軟なグラスソリッド穂先を採用したコスバの高い汎用モデルだ。180、200、73-180、91-180の4タイプ。当日の晴山さんは8:2調子の180を使用。

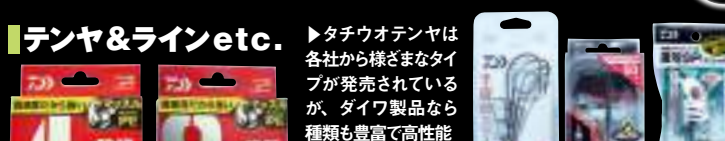


■180 SPEC = 全長1.8m、自重127g、オモリ負荷40~100号(テンヤ30~60号)、メーカー希望本体価格18,000円

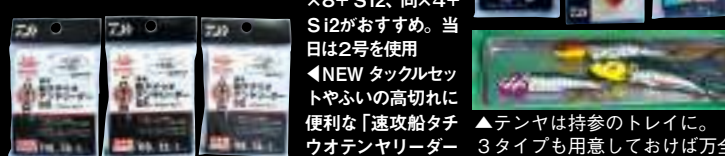
**New レオブリッツ200J/JL**

●自重480グラムと軽量コンパクトながら「ブリッツモーター」採用のハイパワー、ハイスピードを実現したモデル。ジョグパワーレバー、ATDDドラッグ、ドット液晶、電動モビルセッティング対応などハイスペックリールに劣らない機能を満載。スロー巻き上げもお手のもの。8月発売予定。

●自重480g、ギア比5.1、最大ドラッグ8.5kg、糸巻き量PE1.5号450m、2号300m、メーカー希望本体価格76,500円



▲ジョグパワーレバーならとっさのアタリにも迅速に対応



▲テンヤは持参のトレイに。3タイプも用意しておけば万全

▲クーラーボックス  
 ●プロバイザートランクHD IIS 3500 = タチウオには横長タイプ、35リットルがおすすめ

**動画連動!**  
 ★当日の動画はダイワ「船最前線」よりご覧になれます。

●Presented by DAIWA



▲パターンをつかんでからはボンボンと掛けていく



▲柔軟なグラスソリッド穂先がきれいな弧を描く



▲苦勞の末に掛けた貴重な1本  
 ▲最大はデブプリ太った1メートル級

最も難しい時期、加えて数日前から釣果が下降線をたどり、型を見るのが精いっぱいとも言われていた。  
 案の定、高槻さんに1〜2回アタリがあつた程度で、9時ごろ走水沖へ移動となる。ここでも時おりはアタリがあるものの、活性が低いのかハリ掛かりには至らず。  
 「魚探は真つ赤なのに」と船長も首をかしげている。  
 この状況に高槻さんはあの手

この手と攻略の引き出しを模索し、釣り開始から2時間後、ついに船中1本目の90センチ級を釣り上げた。  
 「テンヤのシルエットを小さくしたのがよかつたみたいです」と言いながら、すぐに晴山さんにパターンをアドバイス。  
 その後は名手高槻さんらしくポツポツながら中型を追加、教えられた晴山さんも巻き上げ途中のバラシに泣きながらも、無事に本命をゲットし、13時半に沖揚がりとなった。  
 「難しい目でしたが、反応はバッチリなので今後は楽しみです。これからテンヤタチウオを始めたいという方はぜひ参考にしてください」

●Presented by DAIWA



★名手高槻慧さんと晴山由梨さんが実釣現場で入門者のためのアドバイス

だれでも簡単、手軽に釣れる  
 テンヤタチウオにチャレンジ 高槻慧、晴山由梨  
 今すぐできるテンヤタチ基本釣法  
 THE FRONT OF OFF SHORE FISHING VOL.85  
**タチウオ最前線**  
 at 東京湾奥金沢八景出船

▲2人がおすすめする入門者用のタックルを持参

「これからテンヤタチウオを始めたいという方も多いと思います。今回は僕と晴山さんで気軽に楽しめるテンヤタチを紹介したいと思います」  
 2人が乗船したのは東京湾奥金沢八景の弁天屋。テンビン釣りもオーケーの乗合船だが、もちろん2人ともテンヤ釣りオンリーでの挑戦だ。  
 「東京湾のタチウオが徐々に上昇気配。夏タチウオをへてのが例年のパターンだ。今回はこれからテンヤタチウオにチャレンジしたい方のために高槻慧、晴山由梨の両氏がタックル選びから釣り方までを詳細に解説する。」

「タックルはハイエンドから汎用品までさまざまな製品が出ていますが、僕が入門者用としておすすめしたいのがこれです」  
 竿は「アナリスタータチウオテンヤ」と「テンヤタチウオX」の2種、リールは8月に発売される電動リール「レオブリッツ200J」という組み合わせだ。  
 「いずれも上位機種にも劣らない性能を持っており、価格的に見ても入門にはピッタリの製品です」  
 使用するテンヤについても、「これも様々な種類がありますが、ダイワ製品なら間違いありません。今日は船宿推奨の50号を使います」  
 テンヤに支給のイワシを付け、準備が整ったところで7時20分に出船。当日はテンヤ希望の方のみということで浅場は狙わず、猿島沖の水深50メートル前後、タナ35〜45メートルで釣り開始となる。  
 「基本の釣り方は①電動リール低速巻き、②ハンドルを2〜3回転巻いて止めるストップ&ゴー、③ジャークやトゥイツチしてステイなどの3種類。まずはこの釣り方を実践してください」と高槻さんはそれぞれの釣り方を披露しながら解説。経験豊富な晴山さんは③の釣り方で開始。取材当日の6月中旬は一年で

●取材協力=東京湾奥金沢八景 弁天屋 ☎045・701・9061 (詳細は巻末の情報欄参照)